

**平成30年度 資源開発研修(第11期)
受講生募集について**

国際資源大学校では、我が国への鉱物資源の安定供給確保に携わる人材を育成する事業を実施しており、その一環として本年6月下旬から約3カ月の日程で「資源開発研修」を実施します。
ついては下記の通り受講生の募集を行います。
皆様からのご応募お待ちしております。

記

1	研 修 内 容	<p>鉱物資源の乏しい我が国において、資源の安定供給確保には我が国企業による海外での鉱物資源の開発が必要であり、海外での資源開発を進めるためには産業界が求める人材の育成が重要です。</p> <p>この研修は、「資源概論」、「技術各論」、「財務基礎」、「鉱山開発事例」、「プロジェクト評価」、「施設・現場見学」及び鉱物資源開発が活発な北米への研修旅行(地質巡検及び鉱山見学)を通じ、我が国の海外鉱物資源開発に必要な実践的知識の習得を目的とします。</p> <p>なお、研修生は数グループに分かれ、研修最終日にグループ毎の課題発表を行います。効率的なグループ討議を行うため、研修参加までに自らが現場で抱えている課題やその対応策などを整理しておくことが重要です。</p>
2	講 師	政府系機関、大学、資源開発関連企業、商社、銀行等の学識者及び実務経験者
3	研 修 期 間	平成30年6月25日(月) - 平成30年9月14日(金)
4	研 修 場 所	当校講義室、及び各見学先(詳しくはカリキュラムをご参照下さい)
5	定 員	24名程度
6	対 象 者	入社数年から10年程度の海外資源開発等に関連する業務に従事する者又は従事を予定する者
6	受講に当たっての心構え	<p>1. 本研修は一部英語での講義、演習に加え、海外の鉱山見学等を予定しております。受講申込時にはTOEIC等のスコアの記入をお願い致します。(証明書の添付は不要です。)</p> <p>なお、TOEIC等のスコアをお持ちでない方は、おおよその英語力のレベルを研修部門へお知らせ下さい。</p> <p>また英語での発表やディスカッションの練習として、放課後には各自の業務等に係るプレゼンテーション(及び質疑応答)をグループ単位で進めて頂きます。プレゼンテーションの内容は自由ですが、業務上の秘密保持に関わる事項は省いて下さい。</p> <p>また前述の通り海外への鉱山見学を予定しておりますので、旅券をお持ちでない方や有効期限が近づいている方(概ね有効期限が半年以上先の旅券が望ましい)は取得/更新をお願いします。</p> <p>2. 本研修は鉱床地質、探鉱の講義に加えて国内の鉱山見学や地質巡検も予定しております。これらの専門知識に不安のある方は高等学校の地学、もしくは鉱床地質学の基礎を自習した上で受講頂けますと理解により有効です。</p> <p>3. 鉱山評価、投資、財務関係の講義や演習もありますので、P/L、B/S、キャッシュフローの基本を理解の上、受講頂けますとより有効です。</p>
7	受 講 料	<p>200万円/人</p> <p>受講料は研修負担費用及び施設運営協力費を一式としています。</p> <p>ただし、下記費用につきましては別途、負担頂きます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・赴任交通費 ・国内・海外の宿泊費、及び食事代 ・国内・海外の見学に係る移動交通費 ・帰任交通費 ・通信運搬費
8	申 込 期 限	平成30年6月7日(木)
9	受 講 確 定 通 知	平成30年6月8日(金)までに研修担当者及び受講予定者へ連絡差上げます。
10	受 講 料 納 付 方 法	受講確定後に請求書を送付します。 また、受講料の振込期限は7月13日(金)を予定しております。
11	国 内 宿 泊 費 の 精 算 方 法	小坂ゴールドパレス(弊社隣接のホテル)の宿泊費はホテルフロントへ直接お支払いください。 小坂以外の宿泊(秋田、釜石、東京、九州等)につきましては、旅行代理店への支払いとなります。 詳細につきましては、受講確定後に改めてご連絡差上げます。
12	海外の宿泊費、及び国内・海外の見学に係る移動費の納付方法	研修終了後に各社宛に請求書を送付します。
13	申 込 書 受 付 お 問 い 合 わ せ 先	<p>一般財団法人国際資源開発研修センター 国際資源大学校 研修部門 〒017-0202 秋田県鹿角郡小坂町小坂鉱山宇古館9番地3 TEL: 0186-29-3825 FAX: 0186-29-3845 E-mail: kudo.takako@minetec.org</p>